

「システム統合リスク管理態勢の確認検査用チェックリスト」(案)の概要

1. 経緯

システム統合を伴う金融機関等の経営統合が、合併や持株会社化等により進展する中で、システム統合に係るリスクの管理態勢の充実・強化はますます重要なものとなってきている。

こうした状況にかんがみ、金融庁検査局では、検査において特に留意すべき項目を整理し、着眼点を明確化しておくことが必要であると考え、「システム統合リスク管理態勢の確認検査用チェックリスト」(案)を取りまとめました。本チェックリストを公表することにより、金融機関等に自己責任原則に基づく経営管理を促すことにつながることを期待される。

2. 基本的考え方

金融機関等の経営統合に係るリスクは多岐にわたって存在することを十分に認識した上で、特に事務・システムリスクに焦点をあてた。

なお、本チェックリストは、預金等受入金融機関のみならず、全ての金融機関等(それらを傘下とする持株会社を含む。)を対象とするものである。

したがって、本チェックリストの適用にあたっては、業態の特性、金融機関等の規模、必要とされるシステム水準の差異を十分に考慮した上で、機械的・画一的な運用に陥らないよう配慮する必要がある。

3. 本チェックリストの構成

- ・ 経営陣のリスク管理に対する協調した取組み
- ・ 協調したシステム統合リスク管理態勢のあり方
- ・ 不測の事態への対応
- ・ 監査及び問題点の是正

(注) 詳細については、別添2「「システム統合リスク管理態勢の確認検査用チェックリスト」(案)のフレーム」を参照。

4. 今後の予定

本パブリックコメント終了後、頂いたご意見等を踏まえ所要の作業を行い、検査官宛通達として発出し、通達日以降実施する検査から適用する。